

Libpedia —よくわかる用語解説— 1

看護教育

今号より始まりました、その名も“Libpedia”!!!

書名や雑誌の特集名でよく目にするいろいろな分野の言葉を解説し、困ったときの“図書館員のための単語帳”を目指します。

まず第一回は“看護教育”部門から。

【クリニカルラダー (clinical ladder)】

看護の臨床実践に必要な能力を段階的に表現したものを。

“ladder”とは「はしご・はしごに似たもの」「(出世などの)手段」「(地位の)階段」といった意味があり、「段階的に登ることやその手段」と解釈される。また、“clinical”は「臨床の」という意味である。

【e-ラーニング (e-learning/electric learning)】

パソコンやインターネット、イントラネットを活用したオンライン教育のこと。パソコンにプログラムをインストールしたり、CD-ROMを利用したり、web上のコンテンツにアクセスする方法などがある。また狭義では「WBT (web-based training)」や「WBL (web-based learning)」のように、インターネットを使ったもののみを示す場合もある。時間や場所の制約を受けることなく自分のペースで学習でき、集合研修に比べ講師や個々に資料を配付する必要がない、という点において低コストで行えるといったメリットがある。

【OJT (On the Job Training)】

企業内(看護教育分野では院内)で行われる教育活動のこと。職場内教育ともいう。職場で実務を担当しながら、上司・先輩から部下・後輩に対し、主にマン・ツー・マンで行われる職業能力開発のための訓練である。これに対し、職場を離れて外部講師や上司が講師となり、集団で実施される教育活動のことを Off-JT (Off the Job Training)〈集合教育〉という。

【プリセプターシップ (preceptorship)】

プリセプターがプリセプティをマン・ツー・マンで指導・育成する教育方法や仕組みのこと。

“preceptor (プリセプター)”とは precept (教え・教訓)を伝える者の意味で「指導者・教育訓練者」と訳される。一方、教えを受ける者は“preceptee (プリセプティ)”という。



日々の業務における、“?”な言葉を募集しています。「これは何の事?」といったような言葉がありましたら、ぜひぜひ編集部までご一報ください。力の限り、“!”になるよう、解説させていただきます!!!

(文責: 松尾知香/医藤井会 石切生喜病院)